学校番号	１００５

令和２年度　国語科

教科	国語	科目	国語総合	単位数	５単位	年次	１年次
使用教科書	高等学校　「新編　国語総合」　（教育出版）						
副教材等	『プレミアムカラー　国語便覧』（数研出版） 『常用漢字　ダブルクリア　四訂版』（尚文出版株式会社） 『新明説総合古典文法　基本練習ノート』（尚文出版株式会社）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

国語に対する向き合い方は、これまでのように本文を解釈することから、自分で内容をまとめ、自分の主張を持つ方向へと変化しつつあります。
そこで求められるのが言葉に対する感覚を育てることです。したがって、漢字や語句を身につけ理解の基礎をつくる、文章のアウトラインを手早くまとめる、文章・発表者の主張を正確に受け取る、これらの力を伸ばすことが必要となります。
そのためには、まず初めにきちんと授業に集中すること、また、授業だけではなく日ごろから世の中で起こっていることに関心を持つこと、読書や、辞書・インターネット等で調べることを通して様々な知識を身につけることです。

２　学習の到達目標

＊漢字や語彙力を身につけ、書く・話すことの能力の幅を広げる。
＊文章のアウトラインを手早くまとめる。文章・発表者の主張を正確に受け取る力を伸ばす。
＊相手に理解してもらうために、自分の表現能力を高める。
＊文学作品を通して日本語の幅を広げ、より自分の理解・表現能力を広げる。

３　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:話す・聞く能力	c:書く能力	d: 読む能力	e:知識・理解
観点の趣旨	授業に積極的に取り組み、自ら学ぶ意欲を持てる。	＊自らの意見を的確に表現することができる。 ＊他者の意見を聞き、理解することができる。	＊本文の内容を踏まえて自分の考えをまとめることができる。	＊本文の内容を筋道立てて理解することができる。 ＊本文の内容を整理することができる。	＊常用漢字を基本とした語句を使うことができる。 ＊教科や社会生活で必要な日本語の知識を身につけることができている。
評価方法	＊授業中の態度や発言 ＊提出物の点検	＊授業中の態度や発言 ＊提出物の点検	＊提出物の点検	＊授業内での発問や課題	＊小テスト・提出物の点検 ＊定期考査

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点					単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d	e		
一学期前半	(随想) 頭の中の無限大『赤毛のアン』との出会い (古文) 古文入門 児のそら寝	○新しい視点を得る ・視点を変える意義を理解する ・未解決な問いを持ち続けるという考え方を理解する ○歴史的仮名遣いに慣れ，古典についての興味・関心を広げる。	○			○	○	a. 授業に積極的に取り組み、自ら学ぶ意欲を持てる。 d. 本文の要旨を読み取り、流れを整理することができる。 e. 語句の意味を理解できる。	＊授業中の態度や発言。 ＊提出物の点検 ＊小テスト ＊定期考査
一学期後半	(評論)想像する力 (小説)雨傘 (古文) 古語の品詞 老僧の水練	○文章の構成を意識する ・問い・意見・根拠を読み取る ○人物の心情を読み取る ・場面・状況から主人公の心の動きを捉える ○歴史的仮名遣いに慣れ，現代語訳の仕方について理解する。	○			○	○	a. 内容を整理・理解し、他者に伝えることができる。 d. 専門性を持った文章を読むことに慣れる。 d. 本文の流れを読み取り、物語の展開が理解できる。 e. 登場人物の言動から、心情を理解し、他者に説明できる。	同上
二学期前半	(小説)羅生門 (詩)二十億光年の孤独 (古文) 動詞の活用 仁和寺にある法師 奥山に猫またといふものありて	○視点や語りに着目する ・「視点」や語り、時代背景などに着目して小説を読む。 ・場面の展開と主人公の心理の変化を捉える。 ○「詩のことば」のもつイメージを感じ取る。 ・一つひとつの語句に着目して詩の持つイメージを捉える。 ○随筆に描かれた情景，心情などを表現に即して読み味わい，書き手の意図を捉える。 ○用言の活用について理解する。	○		○	○	○	d. 本文の流れを読み取り、物語の展開が理解できる。 e. 登場人物の言動から、心情を理解し、他者に説明できる。 ｃ．主人公の心理と行動を批評する。 a. 詩という表現形式を理解し、自分の言語表現の幅を広げる。	同上

二学期後半	(評論)彼らがそれを学ばなければならない理由 (小説)とんかつ (漢文) 訓読の基礎 蛇足 春暁 春望	○文章の構造を理解する ・対比を捉える ○場面・状況を読み取る ・筋立てに着目して小説のおもしろさに気づく ○訓読の基本を理解し，訓点に従って漢文を読んだり，書き下し文に改めたりする。 ○故事成語のもとになった文章を正しく訓読し，叙述に即して的確に読み取る。 ○詩の表現上の特色を把握しながら，詩に詠み込まれた情景や心情を読み味わい，詩の主題を理解する。	○	○		○	○	a. 内容を整理・理解し、他者に伝えることができる。 b. 本文の趣旨に合う具体例を考え、発表する。 d. 専門性を持った文章を読むことに慣れる。 e. 語句の意味を理解できる。	同上
三学期	小説 ほねとたね (古文) 四季の歌 かぐや姫の昇天	○人物の心情を読み取る ・登場人物の関係と心情の変化を接し方やしぐさなどの対比に着目して捉える。 ○季語や季節に留意しながら，和歌を読み味わう。 ○古典の物語文学を，和歌の果たす役割に着目しながら，人物・情景・心情などの表現に即して読み味わう。	○			○	○	a. 古典文学においての和歌の役割に着目しながら、情景・心情の表現に即して読み味わおうとしている。 d. 本文の流れを読み取り、物語の展開が理解できる。 e. 登場人物の言動から、心情を理解し、他者に説明できる。	同上

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:話す・聞く能力　　c:書く能力

d:　読む能力　　e:　知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。